

畑石議員（自民議連）

平成 29 年 2 月 27 日

知事答弁実録

（環境県民局）

（健康福祉局）

（教育委員会）

（問）子供が遊ぶ空間づくりの充実について

幼稚園や保育所における子供の遊ぶ空間づくりの充実に向けて、園や所の実態や保護者のニーズ等については、どのように把握しているのか、また、子供の遊ぶ空間づくりの充実について、どのように考えているのか、併せて知事の所見を伺う。

（答）

子供は、様々な環境の中で活動することを通じて、しなやかな心の働きや身体の動きを体得していくものであり、子供の健やかな成長にとって、遊ぶ空間・環境は、大変重要なものと考えております。

幼稚園、保育所などでは、安全に配慮した、一定の面積基準以上の園庭を確保して、日常的に屋外活動を行っているほか、近隣の公園や空間も活用することで、お花見やプール遊び、雪合戦など四季折々の自然と触れ合う活動を取り入れ、子供の様々な力を培っているところでございます。

こうした中、来年度、県では、自然体験活動の充実を図るとともに、県内外の子育て家庭に対し、効果的に情報発信を行い、自然体験活動への理解と信頼感の向上を図るため、自然保育に係る認証制度を導入してまいりたいと考えております。

現在、検討に当たり、県内の園所を対象に園所内での活動状況や、園所外で活動ができる場所の状況につきまして、実態を把握するためのアンケート調査を実施しているところでございます。

また、保護者のニーズにつきましては、昨年、アンケート調査を行いましたところ、園所における自然体験活動の頻度について、現状よりも多くを希望している傾向があったところでございます。

今後、これらの調査結果をもとに、現状を把握するとともに来年度、有識者などによる検討会議を設け、認証制度の構築と、県の支援につきまして、検討してまいりたいと考えております。

こうした取組とともに、小規模保育など受け皿が多様化する中、場所や規

模，周囲の環境など，それぞれの園所の特徴を生かしつつ，遊ぶ空間づくりの充実が図られるよう県としても取り組んでまいりたいと考えております。